

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年6月18日（水）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアN（図1）
- ・東波除堤魚類移動防止網（図1）
- ・1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網（図1）

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリアNの状況
- （2）港湾魚類対策の状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリアNの状況

東京電力は、令和10年度中に、水処理二次廃棄物および再利用・再使用対象を除くすべての固体廃棄物の屋外での一時保管を解消することを目指している。

この一環として、瓦礫類一時保管エリアN（以下「一時保管エリアN」）でノッチタンクに収納し保管されている汚染土壌※については、別の保管容器へ入れ替えた上で、固体廃棄物貯蔵庫へ運搬する計画である。

6月末から一時保管エリアNに設置された屋根の撤去作業を開始し、7月初めにノッチタンクの蓋を開放する作業が予定されていることから、当該エリアの状況を確認した。（前回確認：令和7年5月19日）

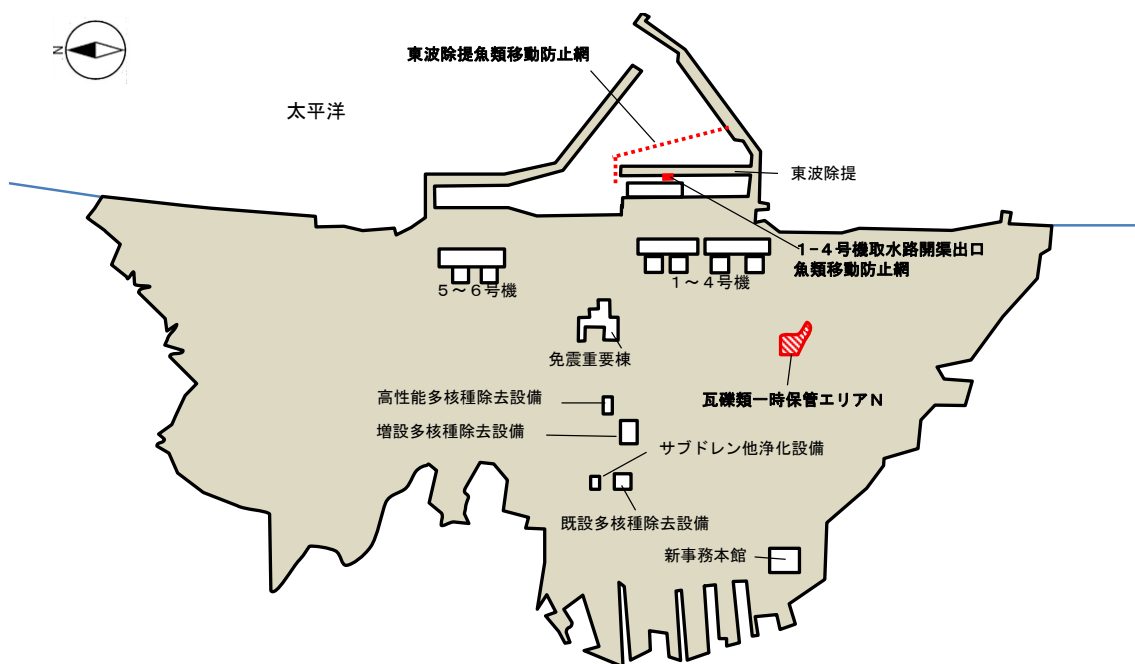
- ・一時保管エリアNの周囲は、単管パイプやロープで区画されており、関係者以外の立ち入りを禁止する措置が講じられていた。（写真1）
- ・ノッチタンクは2段に積み上げて保管されていた。2段積みとなっているノッチタンクの上段は、天井部にバンドや単管パイプで固定されており、荷崩れ防止の対策が講じられていた。（写真2）
- ・屋根の撤去に使用する重機が仮置きされていた。作動油の漏えい等の異常は認められなかった。（写真3）
- ・汚染土壌の入れ替え作業中に雨水がエリア内へ浸入し、汚染土壌に触れた雨水が排水側溝や排水路へ流出しないよう、堰の外側に新たに土のうが設置されていた（堰による流出防止に加えた追加的な安全対策）。なお、屋根を外した箇所からの雨水浸入を防止するため、雨除けシートの設置が予定されている。（写真4）

※平成25年及び平成26年に発生した汚染水タンクからの漏えいにより汚染した土壌。土のうに回収した上で、ノッチタンクに収納されている。

(2) 港湾魚類対策の状況

東京電力は、港湾内で放射性セシウム濃度の高い魚類が確認されたことから、放射性物質濃度の高い魚類の港湾外への移動防止を目的に魚類移動防止網等を設置しており、信頼性・メンテナンス性の向上を目的に東波除堤魚類移動防止網（令和6年3月4日工事完了）及び1－4号機取水路開渠出口魚類移動防止網（令和5年9月1日工事完了）のリプレイス工事を実施した。今回は、それらの設置状況を確認した。（図1）（前回確認：令和6年4月24日）

- ・ 東波除堤魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（杭、網の破損等）は認められなかった。（写真5）
- ・ 1－4号機取水路開渠出口に設置された魚類移動防止網を確認したところ、外観の異常（破損等）は認められなかった。（写真6）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
一時保管エリアNの外観①



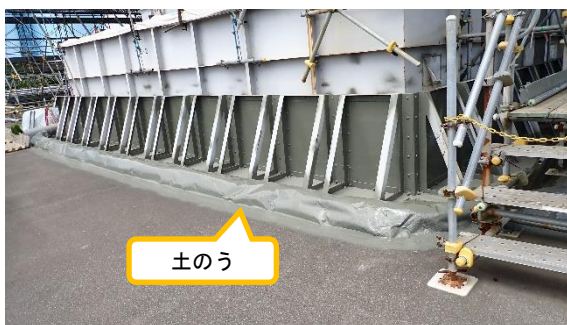
(写真 1 - 2)
一時保管エリアNの外観②



(写真 2)
ノッチタンクの保管状況



(写真 3)
重機の仮置き状況



(写真 4)
土のうの設置状況
※土のうに防水塗装が施されている

土のう



東波除堤魚類移動防止網

(写真 5)

東波除堤魚類移動防止網設置状況



1－4号機取水路開渠出口
魚類移動防止網設

(写真 6)

1－4号機取水路開渠出口魚類移動
防止網設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。